

7月に向けて

代表取締役 三田雅憲

梅雨の時期を迎えて、鬱陶しい日が続きます。熱中症や食中毒に十二分に気を付けて皆で乗り越えていきましょう。

さて、今期大阪工場と千葉工場で労災事故が発生しました。怪我をされた社員は大変痛い思いをしたと思います。

特に千葉工場では救急車やドクターヘリが出動して助けて頂き、本人も頭や腕を縫いましたが、命に別状なく安心をしました。一日で退院もでき、あとは通院して復帰時期まで養生するという事です。どちらの事故もご両親には大変心配をお掛けして、会社として心よりお詫び申し上げたいのと、改めて安全に係る指導を徹底しなければならないことを感じました。

大阪本社では6月に全社員でトラックの特性、天井クレーンの操作方法や注意点、又それ以外にも補足事項として社員と安全に関する講習をさせて頂きました。

もちろん、1回講習をしたくらいでは不十分です。工場長をはじめ、班長や班長代理など現場責任者が若年社員をしっかりと安全に仕事を遂行しているか見て、KY（危機予知）をして注意喚起をしてやって欲しく思います。又、万一事故が発生した場合においても、誰が救急車や病院の手配をするか、又社長への報告などは誰がするか、ご家族への連絡は等々確認し、徹底することが多くあることも今まで以上に感じました。設備的に今期は工場内の防災カメラの設置を安全のために進めていきます。

そして、やはり一番感じたのは班長や班長代理などの年長者がどれだけ若年者の安全や行動に関心を持ち、親心とまでは言いませんが、それぐらいの気持ちで見守ってやれているかということ、又そういう気持ちに班長や班長代理が思うように会社が一緒に学ぶことが大切であると心から感じました。なにか起きて必ず先輩や会社が守ってくれると考えれば、若年者は精一杯仕事に打ち込めると思うし、そうでなければ打ち込みにくいと思います。

又、先日も朝礼で話をしましたが「one for all.all for one」の本当に意味をお伝えしました。「一人はチームの為、チームは目的の為」チームの当社でいえば各班や各工場ごとの仲間と解釈し、目的とは一番はお客様に喜んでもらえる仕事をする事であり、仲間と技術向上のために切磋琢磨することであり、自分の価値をあげる事であり、安全に仕事をする事であり、関係するとりまく会社さんが喜んでくれる事であり、そしてそれを見て会社も喜ぶということが、大きな目的となると思います。自分のことだけではなく仲間やお客様、仕入先さんや関係する様々な社会的な関係者を大切にすることが本当に大切であると考えます。

当社にはうちの技術を頼って北は北海道から九州四国までお客様がおられます。今、設計事務所より続々と問い合わせが参っています。より一層社会に貢献できる会社を目指して、社員皆で頑張りたく考えてまいります。一丸となって今期乗り切っていくたく考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。